

お知らせ

報道関係各位

2015年3月3日
株式会社ヤナセ
EMG マーケティング合同会社

「ヤナセ 100 周年記念、こんなメルセデスに乗りたい！」コンテストを開催

株式会社ヤナセ（社長：井出 健義、東京都港区）と、EMG マーケティング合同会社（社長：廣瀬 隆史、東京都港区）は、ヤナセが本年5月に迎える創立100周年を記念して、オリジナルデザインを募集し、実際にスペシャルカーを制作するコンテスト、「ヤナセ100周年記念、こんなメルセデスに乗りたい！」を、4月20日まで開催します。

両社は、65年もの長きにわたる取引関係にあり、業界は違えども、それぞれ日本のモータリゼーション発展に尽力してきました。そんな両社が、このたびのヤナセの創立100周年を機に、自動車産業の未来を担う工学専攻の学生の育成と、“未来の自動車産業にもっと関心を抱いてほしい”との願いを込めて、このコンテストを企画しました。

課題は、メルセデス・ベンツ『GLAクラス』のオリジナルデザイン募集とし、テーマは、「101年目の未来を迎えるヤナセに未来への祝福と、100年企業への賛辞を込めて」としました。また、開催にあたり、EMG マーケティング合同会社と TEAM IMPUL のパートナーシップに基づいて、星野 一義氏が特別審査員として参加し、ホシノインパルとして、公募から選ばれたドレスアップカーの実現に向けた製作協力を行います。

学生の皆さまのたくさんのご応募をお待ちしております。

コンテスト名：「ヤナセ 100 周年記念、こんなメルセデスに乗りたい！」

応募サイト：<http://www.noritai.net/>

応募締切：2015年4月20日(月)

運営：こんなメルセデスに乗りたい！コンテスト実行委員会(noritai.net)

主催：株式会社ヤナセ、EMG マーケティング合同会社

協賛：株式会社ヤナセオートシステムズ

協力：株式会社ホシノインパル

ヤナセについて：株式会社ヤナセの歴史は、1915年に梁瀬商会(当時)が米国から輸入し横浜港に陸揚げした1台のビュイックに始まります。ヤナセはその後一貫して日本のモータリゼーションの発展に努め、キャデラック、ビュイックなど米国車やメルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲンなど欧州車を日本市場に紹介してきました。ヤナセはお客さまが安心して輸入車にお乗りになれるよう、国内全域をカバーするアフターサービスネットワークをいち早く整備し、またパーツセンター設置による迅速かつ確実な部品供給体制を構築しました。1967年に輸入車初の保証中古車制度を開始したのもヤナセです。ヤナセは、「クルマはつくらない。クルマのある人生をつくっている。」の企業スローガンのもと、優れた商品を取り揃えつつ、お客さまとの親密関係の強化に努めています。また、整備技術を高め、安心と信頼のカーライフをお客さまにご提供できるよう、ヤナセネットワークの充実を今後も図ってまいります。 ヤナセホームページ URL <http://www.yanase.co.jp/>

EMG マーケティング、モービル1、東燃ゼネラルグループについて：東燃ゼネラルグループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心にEMG マーケティング合同会社を含む複数の子会社・関連会社で構成されており、石油・石油化学製品を扱い、エッソ・モービル・ゼネラルのブランドのもと国内で給油所を展開しています。また、EMG マーケティング合同会社は、エクソンモービルとのライセンス契約に基づき、高性能エンジンオイル「モービル1」をはじめとする各種潤滑油製品を日本で販売しています。東燃ゼネラルグループとモービル1の詳細につきましては、次のサイトをご覧ください。<http://www.tonengeneral.co.jp/>、<http://www.emg-lube.jp/mobil1/>

